



# 辻川だよい

第17号 [2011春号] 平成23年4月2日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]  
〒679-2204 福崎町西田原 1227  
TEL 0790-22-5763  
ホームページ [http://www10.plala.  
or.jp/tujikawa/](http://www10.plala.or.jp/tujikawa/)

区長 篠坂道弘  
福嶋田では、今年は柳田國男の50周年を迎える年として、山桃忌に併せて「柳田國男50年祭」という事業を計画し準備を進めています。  
これは、「柳田國男生誕の地 福崎」を全国に発信し認知いただきたいから、民俗学の研究の発展に貢献するにいたった目的としています。  
この事業は、8月6日・7日にエル代ホール・辻川隈隈・文化センターを主な会場とし、全国から多数のお客様をお招きし開催する予定です。  
「生家」のある辻川隈とつゝ、「辻川隈展」「民俗学のタグ」もこの事業に参加をして、行政と地域が一体となって「民俗学のある暮らし」を取り組みたいたと考えています。  
ふるねじの文化を育み、地域住民一人ひとりの郷土への誇りと愛着と熱意によりて、「辻川隈」にいたわったまちづくりをみんなで取り組みたいと考えていました。区民の皆様の「協力をお願いいたします。」



## 協議員会は今

2・3月の定例協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

① 山口堂改築建設委員選出。協議員・老人会・歴史探検隊を中心にして11名に委嘱予定。

② 今年度の防災訓練では消火訓練と防災マップ作成のためのまち歩きを実施

③ 一九隣保近くの「ミステーション」改修。「ミ」は回収当日の朝に出すよう啓蒙徹底。

④ 団内の神社とお堂はすべて建物共済に加入した。

⑤ 公民館前に5月をめどに防犯灯設置。防犯灯の球切れにスマートに対応するため区内防犯灯に通し番号を。

⑥ 「子どもを守る110番の家」登録を呼びかけては。

⑦ 街づくり事業として鈴の森駐車場案内標識を左記案内看板・観光マップ」と併せて設置

■ 旧道から北方を中心とした箇所に案内看板を設置。現在地とスケールを表示(下写真)。

■ 例年、5月連休前に行われていた「民俗辻広場まつり」は、8月の「柳田國男50年祭」と同時開催に。

■ 辻川鬼太鼓が5月3日、町制50周年記念式典に出演。

■ 箱根駒ヶ岳山頂に位置する

「箱根駒ヶ岳山頂展望台」は、

「箱根駒ヶ岳山頂展望台」は、

A map of the Saitama area, specifically the northern part around the Kita-Kanbara Station. The map shows various roads, green spaces, and landmarks. A red arrow points from the station area towards the center of the map. In the top left corner, there is a small inset map of Japan with a red dot indicating the location of Saitama. In the bottom right corner, there is a portrait of a man.



**祭礼行事報告**

- ◇1月1・2日 正月祭り
- ◇1月9日(日) 夕えびす  
十歳保の方を始め、30余名の参拝がありました。
- ◇1月15日(土) じんじ  
翌16日は日中の最高気温が1.1度と今シーズンで最も冷え込んだ一日でした。以上十歳保
- ◇2月3日(木) 節分 年越祭  
十一歳保最初の祭儀。最も世帯数の少ない十歳保ですが、歳灯(せどろ)→柴灯・煮灯(せいろとう)は大きめ燃え上りました。
- ◇2月20日(日) 初午祭  
景品集めが困難である等により、福引が取りやめになりました。福引をはじめ初午祭の方についても検討の時期が来ていました。

◆新隣保長会議  
◆1月22日(土)  
の添付を。山口堂の改築費用  
支出については慎重に調査研  
究を。鈴の森神社の玉垣改修  
はまず境内と本殿周辺から。  
村入りの規約運用に関して不  
公平感の是正を、等。

消防団の斡旋による消火器販売・薬剤詰替えと消火訓練実施。「火事だ!」の大声が消防活動を冷静にさせるそうだ。その後の防災マップ作成のための「まち歩き」とまとめの会には総勢50名弱が参加。最初の一歩を踏み出した。

## 平成26年辻川三区巡回記 第一回 [総軒数 111戸 計]

4ヵかい団体役員と一部役員があつた。〈4／2現在〉

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| 団体役員<br>会計監査<br>協議員 | 金坂 道弘<br>内藤 政義(総務)<br>新見 良一                                       | ◎ 9 伊藤 博行 [30]<br>15 牛尾 要次 [11]<br>20 固部 善那 [14]                 |
| 会計監査<br>協議員         | 金坂 好隆 (十木)<br>田崎 正和 (広報)  | 21 松岡 均 [12]   |
| 会計監査<br>協議員         | 金井 年郎 (環境)<br>松岡 博子 (文化)  | 16 松本 重徳 [9]<br>17 長谷川洋一 [12]                                    |
| 会計監査<br>協議員         | 鈴木 健文 (体育)<br>井上 良宣 (文化)  | 18 金井 年郎 [10]  |
| 会計監査<br>協議員         | 日本 川端 英次郎 (環境)<br>三郎 (体育)   | ◎ 10 谷口不二也 [9]   |
| 会計監査<br>協議員         | 朝嶋鶴・布井義<br>隣保長 [◎計画数]   | 老人会 木村正一 (第1クラブ)<br>東 益巳 (第2クラブ)<br>大杉忠司 (第3クラブ)                 |
| 会計監査<br>協議員         | 女性部 商士部会<br>農業組合 上延<br>消防団 上延<br>青年団 田崎<br>小獅 PTA 山下<br>中獅 PTA 鈴木 | 松岡 知子<br>古井 英一<br>造文 雅之<br>隆 智久                                  |
| 上部派遣役員              | 上延 孝 [7]<br>尾上 利幸 [15]<br>高井 稔一 [11]                              | 山下美紀<br>駒田 富男<br>駒田 仁  |
| 3ブロック               | 後藤 俊彦 [53]<br>伊藤 源五 [6]<br>内藤 泰彦 [7]<br>田野 晴行 [22]                | 青少年健全育成委員<br>文化財協力委員<br>人権教育推進委員<br>内藤政義<br>松岡博子<br>岡本徳子<br>松岡初子 |
| 4ブロック               | 8 中井 徹夫 [10]  |  |

編集中記 未舗布の大震災、私たちの  
ドリルのじぶんに動い、岐阜持久戦です。

## 銀の森神社の 辻川の賑わい

一戻の内、一戻三戻で田作、残りの七戻は小作でした。

源之助が十三歳の時、父の福五郎が亡くなり、一家の柱とな

った源之助は、農業と線香の製造販売に励むことになりました。

その傍で、運送業を始めたので

す。手車を買入れ、米を節麿市で運び、節麿で土手鮎(いわし)など

を積み込み、運んだのです。

そのような源之助に転機が訪

れます。十六歳になった時、大

阪へ出たのです。大阪の口入屋

(ホセイ) で紹介されたのが、順慶町

で糸糸や帽子などを商つている

店主を訪ねてきた人が、頻(ひん)

りに北海道の話をしていたのを

聞いた源之助は、北海道に渡る

べく、忙に暇をいなし、母に相

談をしました。当然反対されま

したが、何とか許しを得、明治

一四年、小樽に渡ったのです。

その後、一回、辻川に帰り、

再び北海道に渡つてこおあ。室

蘭に上陸して、札幌を経て空知

郡奈井江に移り住むことになり

ます。奈井江で源之助が始めた

のは、枕木の販売です。明治一

九年当時、日本鉄道会社による

東北本線の施設工事の最中であ

り、枕木の需要は急速に高まつ

ていたのです。この事業での成

功を経て、源之助は富良野村東中に移り住み、松岡木材を興しました。「東中(ひがしなか)松岡木材舗(ひがしこうじきふ)」といわれています。

このように、苦難の中にありながらも順調に推移していました

。この頃で、源之助ですが、一

大窮地が訪れます。それは、石狩川の氾濫で、源之助が保管し

ていた角材が流失して、橋や道

路だけでなく、堤防や田畠まで

も破壊したのです。共同経営をしてしまいましたが、源之助は私

財のすべてを補償に充てました

が、まだ足らなくせびりました

しかし、このやつは源之助を見ていた人がいました。三井の

小川多慶でした。愛別村で農業を営んでいた失意の源之助

小川は山林業をもじかけたので

す。「やつは懲り懲りだ」とい

う源之助に、「儲けは君のものだ。

損は三井で始末する」といふ

じりれないような好条件を提示

して、源之助を表舞台へと立て

出したのです。これが、木村正一。

源之助誕生の礎(いしづち)でしたのです。

(ホセイ) 尺貫法(昭和24年に廃止された)で

土地の面積を表す単位。一戻(ひま)は300坪で、約10000m<sup>2</sup>(=10アール)。

十畝(ひま)が一戻。

(ホセイ) 奉公人(ひきわざにん)の斡旋(おきせん)を業とする人。



## 6 松岡源之助の 生立ちと生涯

松岡源之助は、明治六年(1873)1月17日、辻川一一番地で、父福五郎、母いわの長男として生まれました。辻川の屋台蔵の北辺にあたります。源之助が生まれた頃、松岡家は、母屋のほかに、その裏に続ぎ、反(ほり)延びの田があつました。そこには「辻川の賑わい」の記述があります。